



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月31日

上場会社名 モリ工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5464 URL <http://www.mory.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 宏明
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 河野 博光 TEL 06(4708)1271
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	31,033	8.5	3,769	37.6	3,956	35.8	2,796	64.7
29年3月期第3四半期	28,592	△3.1	2,740	72.2	2,913	74.7	1,697	20.9

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 3,144百万円(63.0%) 29年3月期第3四半期 1,929百万円(64.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	346 34	—
29年3月期第3四半期	208 12	—

※ 平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、1株当たり四半期純利益につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	50,164	35,856	71.4	4,437 19
29年3月期	46,591	33,116	71.0	4,096 76

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 35,826百万円 29年3月期 33,079百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	5 00	—	25 00	—
30年3月期	—	25 00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	25 00	50 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※ 平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、平成29年3月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	5.0	4,600	11.5	4,800	12.2	3,400	53.0	421 08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	8,074,580株	29年3月期	8,074,580株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	526株	29年3月期	87株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	8,074,327株	29年3月期3Q	8,158,355株

※ 平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、期中平均株式数につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8
<参考資料>	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、総じて好調であり景気は回復しています。企業部門が牽引役となつて、業績の順調な拡大を背景に、雇用情勢の良好な状態が維持され、人手不足感が強まっている中、家計部門においても、賃金、個人消費ともに緩やかに持ち直しています。世界景気は、朝鮮半島情勢等引き続き注視が必要な部分もあるものの、緩やかに回復しています。当社グループが属しておりますステンレス業界は、堅調な需要に支えられ、メーカーから流通へ価格の引上げが浸透しつつあります。

このような状況下におきまして、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は310億33百万円（前年同四半期比8.5%増）となりました。前年同四半期に比べ数量の増加と製品価格の値上がりにより売上高は増加しております。また収益面におきましても、生産量増加による工場稼働率の向上や材料価格の値上がりによる在庫評価益の増加等により、営業利益は37億69百万円（前年同四半期比37.6%増）、経常利益は、39億56百万円（前年同四半期比35.8%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、27億96百万円（前年同四半期比64.7%増）と大幅増となりましたが、これは前年同四半期に発生した役員退職慰労金等がなくなったためであります。

各セグメントの状況は次のとおりです。

(日 本)

日本事業の売上高は298億33百万円（前年同四半期比9.1%増）、セグメント営業利益は36億46百万円（前年同四半期比38.9%増）となりました。製品部門別の売上高は以下のとおりです。

ステンレス管部門は、配管用が高水準を維持しており、また、自動車向けも好調であったため、売上高は157億8百万円（前年同四半期比10.3%増）となりました。

ステンレス条鋼部門は、数量は前年同四半期比やや減少しましたが、製品価格の値上がりにより、売上高は82億62百万円（前年同四半期比4.9%増）となりました。

ステンレス加工品部門は、ガス機器用は好調でしたが、家庭用金物製品の不振をカバーしきれず、売上高は14億69百万円（前年同四半期比1.8%減）となりました。

鋼管部門は、建設仮設材用の伸びが一服しつつあるものの引き続き高水準であり、売上高は37億37百万円（前年同四半期比18.5%増）となりました。

機械部門は、販売台数の増加に加えメンテナンスの増加もあり、売上高は6億57百万円（前年同四半期比14.3%増）となりました。

(インドネシア)

インドネシア事業は、ローン規制の影響や消費者の購買力の弱まりにより伸び悩んでおりますが、四輪車の新モデルへの販売が好調であり、売上高は8億2百万円（前年同四半期比5.3%増）となりました。セグメント営業損益は22百万円の損失となりましたが、前年同四半期に比べ44百万円の改善となりました。

(そ の 他)

その他事業の自転車の販売は、業界全体の過剰在庫がまだ解消しておらず、新店舗の認知度向上も時間を要しているため、売上高は3億96百万円（前年同四半期比18.9%減）となりました。セグメント営業損益は18百万円の損失となり、前年同四半期に比べ損失が拡大しております。

(セグメント・製品部門別売上高比較表)

区 分	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)		前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
日 本						
ステンレス管	14,239	49.8	15,708	50.6	19,460	49.8
ステンレス条鋼	7,876	27.6	8,262	26.6	10,803	27.6
ステンレス加工品	1,495	5.2	1,469	4.7	1,975	5.1
鋼 管	3,155	11.0	3,737	12.1	4,356	11.2
機 械	574	2.0	657	2.1	779	2.0
インドネシア	761	2.7	802	2.6	1,045	2.7
そ の 他	489	1.7	396	1.3	621	1.6
合 計	28,592	100.0	31,033	100.0	39,042	100.0

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の総資産は501億64百万円となり、前連結会計年度末に比べて35億73百万円増加いたしました。総資産の増減の主なものは、現金及び預金の増加8億76百万円、電子記録債権の増加5億33百万円、たな卸資産の増加9億60百万円、有形固定資産の増加3億77百万円などです。負債の部は8億34百万円増加いたしました。負債の部の増減の主なものは、支払手形及び買掛金の減少9億51百万円、電子記録債務の増加20億41百万円、短期借入金の減少11億81百万円、長期借入金の増加10億73百万円などです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は358億56百万円となり、前連結会計年度末に比べて27億40百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が23億92百万円増加したことに加え、その他の包括利益累計額が3億55百万円増加したことなどによるものであります。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて0.4ポイント上昇し、71.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期の業績予想につきましては、平成29年10月25日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

当社グループの業績に直接的又は間接的に影響する主な要因のうち、当社グループの事業と密接に関連する重要なものとしてステンレス鋼の市況があります。ステンレス鋼の市況は需給バランスだけでなく、ステンレスの主原料であるニッケル市況の影響を強く受けています。これらはいずれも的確に予測できるものではなく、また、予測どおりに推移する保証もありません。

業績予想に際しては、予想時点の状況を基として予想期間における当社グループに関連する情勢を加味しておりますが、業績予想は実際の業績を保証するものではありません。実際の業績は、その後の情勢の変化等に伴い予想と乖離することがあります。その場合は、業績見込みの見直しを行い、その結果、業績予想の修正が必要と判断したときには速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,195	4,071
受取手形及び売掛金	11,593	11,748
電子記録債権	2,491	3,024
たな卸資産	8,938	9,898
その他	477	339
貸倒引当金	△15	△15
流動資産合計	26,681	29,065
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,859	7,861
その他(純額)	6,976	7,350
有形固定資産合計	14,835	15,212
無形固定資産		
その他	20	30
無形固定資産合計	20	30
投資その他の資産		
その他	5,062	5,865
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	5,053	5,856
固定資産合計	19,910	21,099
資産合計	46,591	50,164
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,944	3,993
電子記録債務	2,212	4,253
短期借入金	1,750	569
未払法人税等	807	624
引当金	348	153
その他	1,599	1,589
流動負債合計	11,661	11,183
固定負債		
長期借入金	500	1,573
役員退職慰労引当金	212	227
環境対策引当金	69	67
退職給付に係る負債	203	189
その他	827	1,068
固定負債合計	1,813	3,125
負債合計	13,474	14,308

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,360	7,360
資本剰余金	7,705	7,705
利益剰余金	16,522	18,914
自己株式	△0	△1
株主資本合計	31,587	33,979
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	823	1,148
為替換算調整勘定	506	542
退職給付に係る調整累計額	161	155
その他の包括利益累計額合計	1,491	1,846
非支配株主持分	37	29
純資産合計	33,116	35,856
負債純資産合計	46,591	50,164

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	28,592	31,033
売上原価	22,019	23,312
売上総利益	6,572	7,720
販売費及び一般管理費	3,832	3,950
営業利益	2,740	3,769
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	43	47
持分法による投資利益	88	149
為替差益	63	—
その他	31	40
営業外収益合計	229	241
営業外費用		
支払利息	21	9
売上割引	18	18
為替差損	—	15
その他	16	11
営業外費用合計	55	54
経常利益	2,913	3,956
特別利益		
受取保険金	—	107
特別利益合計	—	107
特別損失		
固定資産除却損	14	12
役員退職慰労金	355	—
環境対策引当金繰入額	38	—
特別損失合計	409	12
税金等調整前四半期純利益	2,504	4,051
法人税、住民税及び事業税	526	1,056
法人税等調整額	288	205
法人税等合計	815	1,262
四半期純利益	1,689	2,789
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8	△7
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,697	2,796

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	1,689	2,789
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	195	325
為替換算調整勘定	27	1
退職給付に係る調整額	10	△6
持分法適用会社に対する持分相当額	5	35
その他の包括利益合計	239	355
四半期包括利益	1,929	3,144
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,934	3,151
非支配株主に係る四半期包括利益	△5	△7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	インドネシア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	27,341	761	28,103	489	28,592	—	28,592
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,038	—	3,038	—	3,038	△3,038	—
計	30,380	761	31,141	489	31,631	△3,038	28,592
セグメント利益又は 損失(△)	2,626	△66	2,559	△13	2,545	194	2,740

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自転車関連商品の販売にかかる事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額194百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	インドネシア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	29,833	802	30,636	396	31,033	—	31,033
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,211	—	3,211	—	3,211	△3,211	—
計	33,045	802	33,847	396	34,244	△3,211	31,033
セグメント利益又は 損失(△)	3,646	△22	3,624	△18	3,606	163	3,769

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自転車関連商品の販売にかかる事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額163百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

— 以上 —

<参考資料>

平成30年1月31日
モリ工業株式会社

平成30年3月期 第3四半期 決算発表

1. 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期末 H29. 3. 末	当四半期末 H29. 12. 末	増 減		前期末 H29. 3. 末	当四半期末 H29. 12. 末	増 減
流動資産	26,681	29,065	2,384	流動負債	11,661	11,183	△478
現金及び預金	3,195	4,071	876	支払手形及び買掛金	7,156	8,246	1,090
受取手形及び売掛金	14,085	14,772	687	短期借入金	1,750	569	△1,181
たな卸資産	8,938	9,898	960	未払法人税等	807	624	△183
その他	461	323	△138	引当金	348	153	△195
				その他	1,599	1,589	△10
固定資産	19,910	21,099	1,189	固定負債	1,813	3,125	1,312
有形固定資産	14,835	15,212	377	長期借入金	500	1,573	1,073
土地	7,859	7,861	2	役員退職慰労引当金	212	227	15
その他	6,976	7,350	374	退職給付に係る負債	203	189	△14
無形固定資産	20	30	10	その他	897	1,135	238
投資その他の資産	5,053	5,856	803	負債合計	13,474	14,308	834
投資有価証券	3,386	3,880	494	純資産	33,116	35,856	2,740
その他	1,667	1,976	309	株主資本	31,587	33,979	2,392
				資本金・資本剰余金	15,065	15,065	0
				利益剰余金	16,522	18,914	2,392
				自己株式	△0	△1	△1
				その他の包括利益累計額	1,491	1,846	355
				非支配株主持分	37	29	△8
資産合計	46,591	50,164	3,573	負債・純資産合計	46,591	50,164	3,573

2. たな卸資産回転月数 (期末たな卸資産÷累計期間の月平均売上高)

(単位：月)

	前第3四半期	当第3四半期	増 減
たな卸資産回転月数	2.83	2.87	0.04

3. 有形固定資産の増減内訳

(単位：百万円)

有形固定資産の増減	設備投資	減価償却	その他処分等	為替換算増減
377	1,095	731	△4	9
日本 (433)	(1,090)	(661)	(△4)	(—)
インドネシア (△56)	(5)	(70)	(—)	(9)

4. 実質有利子負債の比較

(単位：百万円)

	前期末 H29. 3. 末	当四半期末 H29. 12. 末	増 減
有利子負債①	2,254	2,145	△109
現預金等換金性のもの②	3,195	4,071	876
実質有利子負債①-②	△941	△1,925	△984

5. 要約連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期 H28.4-28.12	百分比 %	当第3四半期 H29.4-29.12	百分比 %	増減
売上高	28,592	100.0	31,033	100.0	2,441
売上原価	22,019	77.0	23,312	75.1	1,293
売上総利益	6,572	23.0	7,720	24.9	1,148
販売費及び一般管理費	3,832	13.4	3,950	12.8	118
営業利益	2,740	9.6	3,769	12.1	1,029
営業外収益	229	0.8	241	0.8	12
受取利息	2		2		
受取配当金	43		47		
持分法投資利益	88		149		
為替差益	63		—		
その他	31		40		
営業外費用	55	0.2	54	0.2	△1
支払利息	21		9		
売上割引	18		18		
為替差損	—		15		
その他	16		11		
経常利益	2,913	10.2	3,956	12.7	1,043
特別利益	—	—	107	0.4	107
受取保険料	—		107		
特別損失	409	1.4	12	0.0	△397
固定資産除却損	14		12		
役員退職慰労金	355		—		
環境対策引当金繰入額	38		—		
税引前四半期純利益	2,504	8.8	4,051	13.1	1,547
法人税等	815	2.9	1,262	4.1	447
非支配株主に帰属する四半期純利益	△8	△0.0	△7	△0.0	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,697	5.9	2,796	9.0	1,099

6. 当第3四半期の経常利益増減要因 (前第3四半期対比)

(単位：百万円)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 生産金額 (量・価格含む) の増加	944	1. 変動費率の増加	△355
2. 棚卸評価差損益	667	2. 固定費の増加	△269
3. その他	134	3. 為替差損益	△78
計	1,745	計	△702
		差引	1,043